

研究課題名	人工呼吸管理を要する期間切開患者に対する摂食嚥下機能評価・訓練に関する検討
実施責任者	所属・職名：リハビリテーション部 言語聴覚士
	氏名： 天白 陽介
研究の概要	集中治療室においては多くの重症患者様が気管内挿管をされています。人工呼吸器管理が長期に及ぶ場合は気管切開が検討されます。人工呼吸器管理を要する気管切開患者に対する摂食嚥下機能評価、訓練に関する報告は海外において散見されますが、本邦では存在しません。人工呼吸管理中より訓練の開始が安全に可能であれば、実施しない患者に比し絶食期間の短縮が図れ、摂食嚥下機能維持に寄与する可能性があります。本研究では人工呼吸管理を要する気管切開患者に対し、機能訓練の安全性及び効果を検討することを目的としました。
対象となる個人情報	患者様の属性（年齢、性別、BMI、併存疾患、在院日数、気管切開管理期間、人工呼吸管理期間、集中治療室在室日数、言語聴覚士介入までの日数）集中治療情報（重症度、初回評価時の人工呼吸器設定）摂食嚥下機能評価（着色水テストの結果、退院時の食事内容）呼吸器合併症、有害事象
実施の期間	西暦 2022年 12月 1日より
	西暦 2027年 12月 31日まで
研究対象	当院にて、48時間以上の人工呼吸管理及び気管切開がなされ、人工呼吸管理中に言語聴覚士依頼のあった患者様。